

2020年2月5日

日本儒教学会会員 各位

日本儒教学会
会長 土田健次郎

2020年度大会開催のお知らせと研究発表の募集

立春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本儒教学会では、2020年度大会を本年5月10日（日）に早稲田大学戸山キャンパスにて開催いたします。

つきましては、下記の要領で研究発表を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

2020年度大会において開催予定のシンポジウムにつきましても、あわせてご案内申し上げます。

研究発表募集要領

1. 研究発表テーマ：儒教に関する最新の学術的成果
2. 発表時間：発表20分 質疑応答10分（発表には司会がつきます）
3. 応募締切：2020年3月12日（木）
4. 応募方法：研究発表は、未発表のものに限ります。応募される方は、氏名（フリガナ）・住所・電話番号・Eメールアドレス・所属を明記のうえ、発表の題目と要旨（800字以内）を、Eメールまたは郵送（締切日必着）にて学会事務局までお送りください。大会準備委員会による査読のうえ、発表の可否を決定させていただきます。
5. 応募・お問合せ先：日本儒教学会事務局
Eメールアドレス ribenrujiao@yahoo.co.jp
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 東洋哲学研究室気付

以上

2020年度大会シンポジウムについて

日本儒教学会2020年度大会では、午後に下記のシンポジウムの開催を予定しております。開催時間の詳細が決定いたしましたら、本学会ホームページ等でお知らせいたします。奮ってご参加ください。

なお、葛教授は東京大学東京カレッジ招聘教授として、本年1月より東京に滞在しておられます。

記

テーマ：儒教を観る（仮）

講演者：葛兆光（復旦大学教授、東京大学東京カレッジ招聘教授）

「儒學的制度化、常識化與風俗化——從歷史看儒家」

*通訳あり

渡辺浩（東京大学名誉教授、法政大学名誉教授、日本学士院会員）

「「聖人」は幸福か——儒教における善と幸福」

趣旨：儒教についての過去・現在の言説や動向を対象に、国際的に高名な2名の講演者にそれぞれの研究テーマと視点から語ってもらいます。儒教の教えを実践する立場ではなく、観照（theoria）によってその本質を探究することで、儒教がもつ良さや危うさが鮮明になってくるでしょう。

開催日：2020年5月10日（日）

会場：早稲田大学戸山キャンパス 33号館3階 第一会議室

以上